

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		農地パトロール事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	040102000792
総合計画の施策名		0401 農林業の振興			単独/補助	単独	所属課	050401
政策名		04 活力ある産業のまちづくり			主要事業		農業委員会事務局	
施策名		01 農林業の振興			市長マニフェスト			
手段名		02 ②農業の効率化推進			未来PJ事業		グループ	農業委員会G
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)	
法令根拠		国民年金法・地方自治法					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
農地の荒廃や違反転用を防ぐため、市内全域の農地パトロールを行う。年1回、農業委員が3班編制でパトロールを行い、許可なく農地を他の目的に使用している土地、耕作が放棄された農地等を確認し、報告する。	パトロール用の地図の作製、農業委員の班編制、実施要領を作成し、説明を行う。パトロール終了後、報告書にて確認する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
パトロール用の地図の作製、農業委員の班編制、実施要領を作成し、説明を行う。パトロール終了後、報告書にて確認する。	パトロール回数	回	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	パトロール参加者数	人	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
	パトロール総面積	ha	5,614.00	5,605.00	5,607.00	5,607.00	5,607.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民全域の農地	市内の全農地面積	ha	5,614.00	5,605.00	5,607.00	5,607.00	5,607.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
実態が把握される。	違反転用の面積	ha	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移			28年度	29年度	30年度		期間限定
			(実績)	(実績)	(計画)		総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	25.00	25.00	25.00		
	人件費計(B)	千円	73	73	73		
トータルコスト(A)+(B)		千円	73	73	73		

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	農地パトロール事業	事務事業No.	40102000792	所属課	農業委員会事務局
-------	-----------	---------	-------------	-----	----------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 開始時期は不明であるが(昭和の時代から)違反転用の発生防止、不法投棄の防止、遊休農地の解消対策などの啓発につなげる意味から実態調査を行っている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 農業委員会から「現在、年1回のパトロールのため、回数を増やしてはどうか」との意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	平成21年の農地法改正により、農地法第30条により利用状況調査の実施が義務づけられていることから、農地パトロールと利用状況調査の連携はできる。
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	農地の実態が把握されることは、違反転用の発生防止、耕作放棄地の解消等、農業経営基盤の強化に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	農地の保護、有効利用を図るため、一方では農地パトロールによる指導を行い、一方では黙認してしまうといった不公平があってはならないことから、行政が行うべき事業である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在の状況では、パトロールによってどの程度の成果があったか把握できない状況である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	農地の荒廃、違反転用の増加に繋がることが予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	平成21年の農地法改正により、農地法第30条により利用状況調査の実施が義務づけられている。農地パトロールと利用状況調査の連携はできる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	農地パトロールに必要なものは、巡回のための車(農業委員個人者)、委員が身につけるパトロール用の帽子、腕章が必要であるが、平成18年度に購入したものを使用している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	公平に農地の保護、利用促進の推進を図る手段として実施されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 成果向上のため、重点区域の設置、パトロール回数の増が望ましいが、実態はすべての農地の状況把握は難しい。																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>